

## 第62回山形市PTA 連合会研修大会 教育長挨拶

皆様こんにちは。ただ今ご紹介いただきました山形市教育委員会教育長の荒澤賢雄です。本大会の共催者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

まずもって、第62回山形市PTA連合会研修大会が、このように多数のご参加のもと、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

また、佐藤博之山形市PTA連合会長をはじめ、市P連の皆様方には、日頃より児童生徒のより良い成長のために、献身的にご尽力いただいていることに深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、皆様、ご承知のように、山形市は、本年4月1日から中核市に移行いたしました。県から移譲されたものは保健衛生や福祉にかかわる事務や権限が多いのですが、文教関係の移譲事務もございます。「重要文化財に関する現状変更等の許可等」と「教職員の研修」の2つです。

中でも、教職員の研修については、今年度から、「山形市の魅力や特色を生かした研修」と「山形市の教育課題に根差した研修」の2つを大きな柱として、教職員の研修の充実を図っております。

山形市の特色や課題を踏まえた「山形市らしさ」を発揮した研修の成果が、しっかりと本市の児童生徒に還元され、子ども達が郷土を誇りに思い、心も体も逞しく成長し、未来社会を自立的に生きていくための資質や能力がさらに育成されることを大いに期待しているところです。

保護者の皆様方にも、山形市の新たな教職員研修をご理解いただきながら、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お願いがもう一つございます。現在、国レベルで働き方改革が進められております。もちろん、学校の教職員についても、同様に働き方改革が求められております。

山形市の先生方は、真面目な先生方ばかりです。基本的に行った方がよいと思われることは、どんなに別の仕事を抱えていて忙しくなっているとしても、実践しようと努力します。

また、現在、新しい学習指導要領の完全実施が迫り、教育内容が増えたり、対応しなければならない業務が新たに生じたりと、様々な理由から先生方の業務量が年々増える状況にあります。

山形市の先生方の働き方改革は喫緊の課題であると捉えております。

各学校の校長先生方には学校での業務改善の努力をお願いしているところです。学校の業務

改善、それは、子どもと先生とがしっかりと向き合い、より良い教育を行うための業務改善です。

今年3月に柴山文部科学大臣が教職員の働き方改革の関わるメッセージを発表し、学校の働き方改革への理解と協力を求めました。

また、先ほど佐藤会長のご挨拶の中にもありましたように、日本PTA全国協議会の東川会長も「学校の働き方改革へのご理解・ご協力について」というメッセージを発表されました。

保護者の皆様方には、各学校の教職員の働き方改革に関わる思い、考えをご理解いただき、教職員の働き方改革を積極的に応援していただきたいのです。まずは、PTAに関わる会合や行事について、また、地域での会合や地域行事について、教職員とのかかわりを学校と一緒にあって、見直すことから始めて頂ければと存じます。

もちろん、私達、教育行政も、教職員の業務改善が進む手立てを着実に講じていきたいと思っております。各学校の業務改善・働き方改革に、保護者の皆様のご理解と力強いご支援を、どうぞよろしく願いいたします。

結びになりますが、山形市PTA連合会の更なる充実・発展、並びに、本研修大会の成功をご祈念申し上げます。

また、本日まで開催の準備等で多大なるご尽力をいただきました、第七小学校、西小学校、宮浦小学校並びに第二中学校のPTAの皆様、並びに関係各位に心からの感謝と御礼を申し上げます、共催者の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。